

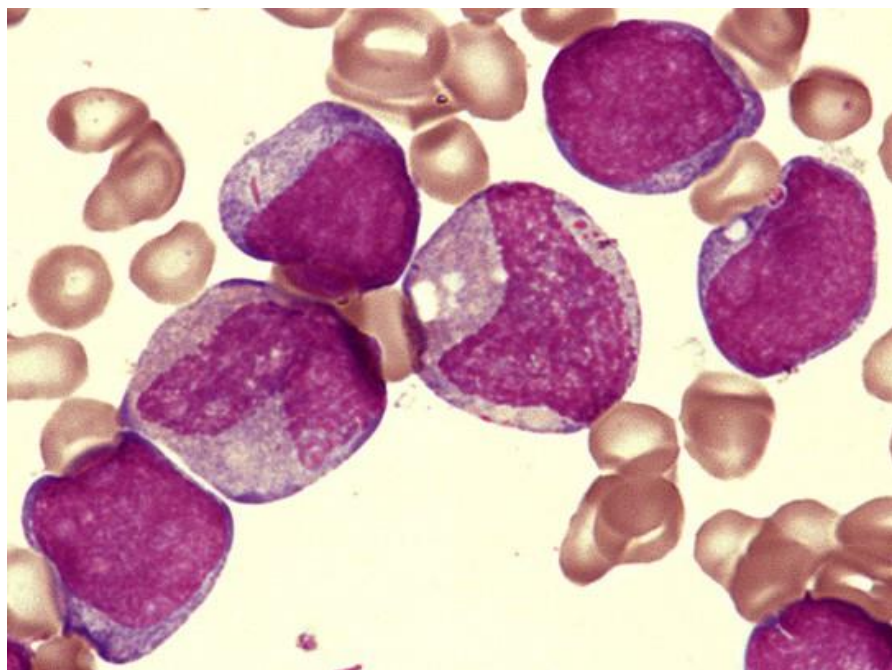
(3) 全国規模の多施設共同による臨床研究

血液疾患に対する、最新医療や高度医療の開発のためには、多数例での検証が不可欠です。そのために全国的な研究グループが組織され、多施設での共同研究が実践されています。

私達は全国的な研究グループに加わり、日本から海外に発信できるEBMの確立に努めています。

ここでは、代表的な研究グループについて紹介しますが、この他にも新規薬剤の開発（治験）等にも積極的に参加しています。

(3-1) Japan Adult Leukemia Study Group (JALSG)



t(8;21)異常を有する急性骨髄性白血病

JALSGは1987年に設立された、本邦で最大の、成人白血病の多施設共同研究グループです。

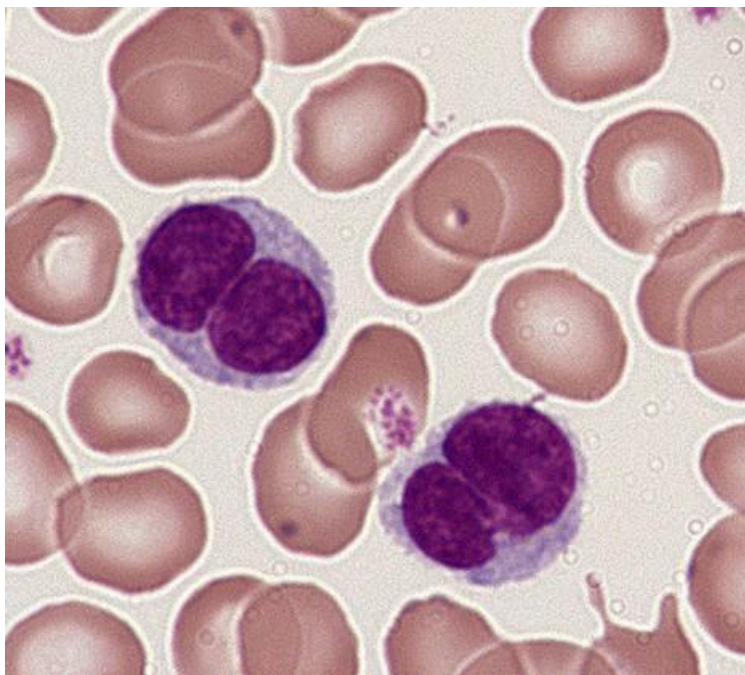
原研内科はその設立期から大きく関与し、現在でも研究グループの中で中心的な役割を担っています。

JALSGからのデータは、日本国内だけでなく、世界に対しても重要な知見を発信しています。

JALSGのホームページへのリンク

<http://www.ialsg.jp/>

(3-2) Japan Clinical Oncology Group (JCOG)



成人T細胞白血病・リンパ腫の
異常リンパ球

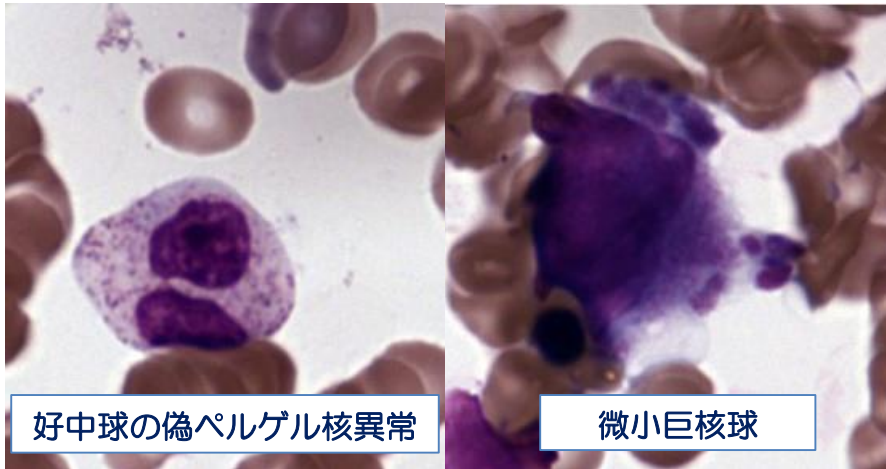
JCOGリンパ腫グループは、国立がん研究センターを中心に1978年に設立されたリンパ腫の多施設共同研究グループです。

長崎大学もJCOGに参加し、特に成人T細胞白血病・リンパ腫の治療法の開発に関して大きく貢献しています。

JCOGのホームページへのリンク

<http://www.jcog.jp/>

(3-3) 特発性造血障害に関する調査研究班



好中球の偽ペルゲル核異常

微小巨核球

骨髓異形成症候群の形態異常

原研内科は、白血病やリンパ腫以外の“再生不良性貧血”や“赤芽球癆”、“骨髓異形成症候群”などの全国調査研究にも積極的に参加しています。

特発性造血障害に関する調査研究班のホームページへのリンク

<http://zoketsushogaihan.com/>

(3-4) 日本造血細胞移植学会のワーキンググループ研究



移植のための骨髄血採取術の現場

私達は、日本血液学会が主導する移植症例の全国調査の結果を解析するワーキンググループ研究にも参画しています。

特に、急性骨髄性白血病や骨髄異形成症候群、成人T細胞白血病・リンパ腫の移植成績の研究に携わっています。

日本造血細胞移植学会のホームページへのリンク

<http://www.jshct.com/>